

緑のまち

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒190-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740



倉沢の 雑木林

写真提供：倉沢里山を愛する会

日野市の西南端に位置する百草・倉沢地区では、日野市で唯一の農地と雑木林そして、人々と共存した昔懐かしい「里山」の風景を見ることができます。

特に倉沢地区は農家の方々の努力でりんご、ブルーベリー等の果実や野菜などの農作物の生産が活発に行われています。又、市の計画でもこの周辺を農の拠点として位置づけ農業の振興を図るとともに緑の保全を進めていく地域としています。

今回この里山内の土地所有者に発生した相続問題では、相続人の方々の「この里山を次の世代に引き継ぎたい」という熱い思いと、市民緑地ボランティアグループのそれを支援する活動が市の計画と結び合い約2.4ha（寄付が6割以上）もの緑地が永久に保全されることになりました。

今、この里山では、自然保護団体と障害者作業所がそれぞれ日野市と、全国でも初めてと思われる「パートナーシップ協定」を結び、農地、雑木林を農の循環と位置づけ保全のための管理をしています。

平成15年度 事業報告・収支決算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

- 春・秋の緑化月間 ①山野草盆栽展 (196点/441名入場) ②緑のリサイクル (603点/328名参加)
③菊花コンテスト (299点/市民一般の部 45名参加/団体の部 35団体参加)
④緑の写真展 (36点/16名参加) ⑤その他
- 会報「緑のまち」発行 (第29号) 3. 「緑のまち」作文集作成 (600部)
- 緑化講習会開催 (6回開催/186名参加 特別講習会2回開催/25名参加) 5. 「ひのの春を楽しむ会」開催 (5,000名参加)

II. 緑化推進に関する事業活動

- 公園・公共施設等への植付け用花卉の栽培および植付け (53,375株) 2. 花の里親・里子運動の実施 (里親228名/種子袋1,873袋)
- 菊花栽培事業 (18,082本) 4. レンゲ畑の再現事業 5. コスモスアベニュー事業 (日野市と共催) (492名参加)
- サクラ維持管理事業 (植樹したオオシマザクラの維持・管理)

III. 緑化推進に関する調査研究

- 緑化推進事業の新たな展開についての調査研究 2. 里山保全に対する調査研究 3. 先進団体の視察

IV. 受託事業

公園清掃および管理事業 120の公園を実施 (愛護会71ヶ所/直営49ヶ所)

V. 収支決算一覧表

一 般 会 計			
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	決 算 額 (円)	科 目	決 算 額 (円)
基本財産運用収入	57,425円	普及啓発費	1,760,787円
事業収入	733,980円	事業活動費	14,606,138円
補助金等収入	46,029,007円	調査研究費	0円
寄付金収入	1,495,756円	受託事業費	16,522,048円
雑収入	113円	管理費	15,398,623円
前期繰越	2,109,478円	予備費	0円
収入合計	50,425,759円	支出合計	48,287,596円
		次期繰越	2,138,163円

平成16年度 事業計画・収支予算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

- 春・秋の緑化月間 ①山野草盆栽展 ②緑のリサイクル ③菊花コンテスト ④緑の写真展等 ⑤その他
- 会報「緑のまち」発行 (第30号) 3. 「緑のまち」作文集の作成 4. 緑化講習会開催
- 「ひのの春を楽しむ会」開催

II. 緑化推進に関する事業活動

- 公園・公共施設等への植付け用花卉の栽培および植付け 2. 花の里親・里子運動の実施
- 菊花栽培事業 4. レンゲ畑の再現事業 5. コスモスアベニュー事業実施 (日野市と共催)
- サクラ維持管理事業 7. 腐葉土の販売

III. 緑化推進に関する調査研究

- 水と緑の日野・市民ネットワークの立ち上げ 2. 学校ISOへの取り組み
- 公園の落葉を利用した地域での堆肥づくり

IV. 受託事業

公園清掃および管理事業 120の公園を実施

V. 収支予算一覧表

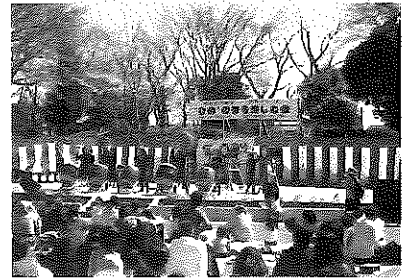
一 般 会 計			
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算 額 (円)	科 目	予 算 額 (円)
基本財産運用収入	60,000円	普及啓発費	2,469,000円
事業収入	399,000円	事業活動費	14,857,000円
補助金等収入	46,801,000円	調査研究費	30,000円
寄付金収入	1,141,000円	受託事業費	15,711,000円
雑収入	2,000円	管理費	16,226,000円
前期繰越収支差額	1,000,000円	予備費	110,000円
収入合計	49,403,000円	支出合計	49,403,000円

日野市内のサクラ祭り - みんなで参加しましょう -

日野中央公園 「ひのの春を楽しむ会」実行委員会主催

春になると日野中央公園では、沢山のソメイヨシノが咲き乱れ多くの市民の方々が花見を楽しんでいます。そんな折、「日野市でも市民全体のサクラの祭をやろうよ!」と言う市民の掛け声がきっかけとなり、「ひのの春を楽しむ会」と銘打ち昨年(2010年)の3月末、日野中央公園でサクラ祭りが盛大に行われ、多くの市民が日野の春を楽しみました。

来年は3回目となり4月2,3日の2日間に渡って盛大なお祭りを、という声も出ていますので、催し物などへ参加や出店できる方はぜひ協会へご連絡ください。



日野橋下流 「多摩川堤サクラ保全」(仮称) 実行委員会主催



オオシマザクラ



市民の募金により多摩川堤に30本のオオシマザクラを植えたことを記念して、地元を中心としたサクラのお祭りが始まり今年で4回目になります。

来年のお祭りは、日野橋下流の多摩川河川敷で盛大に行われる予定です。

「ひのの春を楽しむ会」
「多摩川堤サクラ保全」(仮称)
各実行委員会の事務局は日野市環境緑化協会が担当しています。

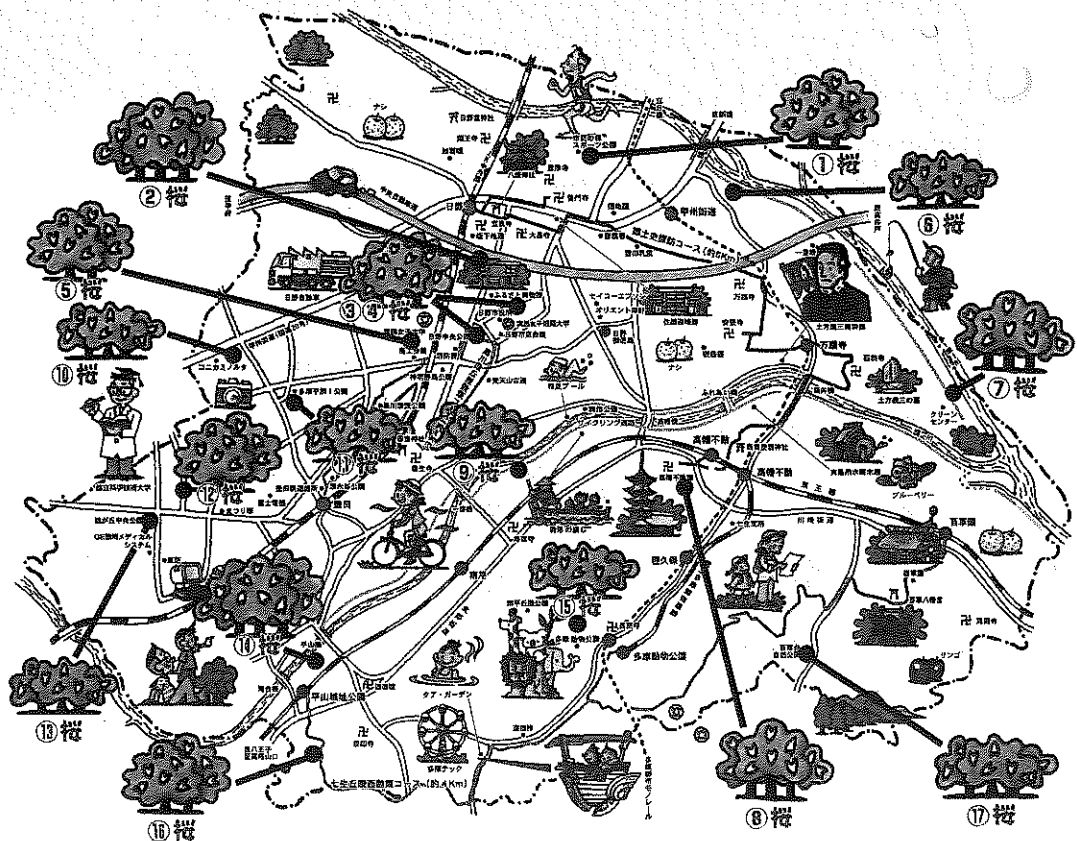
市内各地で (地元や企業が主催)

日野市には下図のように沢山のサクラの名所があり、地元や企業等の方々が長年さくら祭りを実施しているところが沢山あります。将来は春のサクラの開花期2~3週間の間に、各地でそれぞれ「日野の春を楽しむ会」として、サクラ祭りが催されればと考えます。

ひの桜マップ

ひの桜スポット

- ①市民の森スポーツ公園
- ②矢の山公園
- ③市役所通り神明上
グリーンベルト
- ④日野中央公園
- ⑤大久保公園
- ⑥日野橋下流
- ⑦多摩川べり (多摩川合流点
近く根川沿い)
- ⑧高幡不動尊
- ⑨向川原堤緑道
(向川原市営住宅前浅川堤)
- ⑩コニカミノルタ
- ⑪多摩平第1公園
- ⑫旭が丘グリーンベルト
(つばさ学園前道路)
- ⑬旭が丘中央公園
- ⑭平山の浅川堤
- ⑮多摩動物公園
- ⑯平山城址公園
- ⑰百草台自然公園

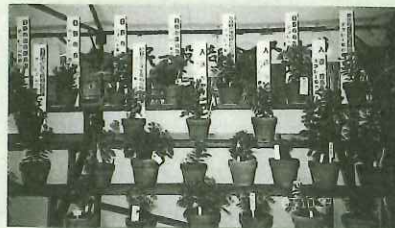


秋の緑化月間行事

* 期間：平成16年10月28日～12月17日 *

菊花展

菊薫る秋、今年も協会で配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって素晴らしい花を咲かせ、皆様のお越しをお待ちしています。また、市で育てた大菊・懸崖のほか珍しい菊も展示いたしますので、お誘いあわせの上、是非お出かけ下さい。



- **配布苗菊花コンテスト** 10月28日(木)～11月10日(水) 市民プラザ(市庁舎前)
小学校の部・老人クラブの部・市民一般の部に分け、それぞれが丹精込めた作品を展示します。皆さんの努力で立派に育った菊をお楽しみ下さい。
- **表彰式** 11月10日(水) 午後2:00～ 市民プラザ(市庁舎前)
コンテスト参加作品のうち、日野市長賞・緑化協会理事長賞等38点を表彰します。
- **古典菊・大菊の展示** 10月25日(月)～11月26日(金) 市民ホール(市役所1階)
大菊や古典菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊など、約200点を展示します。
- **菊友会菊花展** 10月30日(土)～11月6日(土) 市民プラザ(市庁舎前)
福助・達磨・盆養・切り花など、約150点を展示します。

参加者募集!

緑の写真展

12月7日(火)～12月17日(金) (閉庁日は除く) *詳しくは、10月15日発行の
午前8:30～午後5:15 市民ホール(市役所1階) 「広報ひの」をご覧ください。

水と緑のまち、日野市。四季折々の風景は、私たちに“潤い”と“やすらぎ”を与えてくれます。皆さんの身近にある「みどり」をカメラにおさめて、気軽な気持ちで参加してみませんか!

テーマ1……『日野の四季』

テーマ2……『わが家のみどり』

*応募方法 どちらも11月26日(金)までに、協会へ郵送か持参



講習会

稲わら細工講習会

12月2日(木) 午前10時～正午

自然の材料稲わらと竹を使い、わらポッチや一輪挿しなど風情のあるものを手作りします。

*詳しくは、10月15日発行の「広報ひの」をご覧ください。



正月飾り・松竹梅の寄せ植え

12月9日(木) (午前の部) 午前10時～正午
(午後の部) 午後2時～4時

新春を華やかに演出する“春飾り”協会では松・竹・梅に寒菊や南天を添えて、豪華な寄せ植えを、皆さん自身で仕立てるお手伝いをいたします。

*詳しくは、10月15日発行の「広報ひの」をご覧ください。

お問合せ

(財)日野市環境緑化協会 日野市神明2-13-1 TEL 585-4740

緑化協会年間事業

《緑化協会では、緑化推進に関する講習会や展示会等、年間を通じて活動しています。》

普及啓発事業

●春の緑化月間

- (1) ひのの春を楽しむ会(4月上旬)……実行委員会と協力して“さくら”を楽しむ催しを開催します。
- (2) サクラの集い(4月中旬)……多摩川堤のオオシマザクラのお祭りを地元と協力して開催します。
- (3) 山野草盆栽・水石展(6月中旬)……趣味の作品を持ち寄って展示します。
- (4) レンゲ畑の観察会(4月中旬)……昔懐かしい日野の風景を地元農家のご協力で再現します。
- (5) 緑のリサイクル(5月上旬)……市民より提供していただいた植物を配布します。

●緑化講習会の開催

- (1) 家庭果樹の健康管理講習会(5月下旬)……樹木医を招き、家庭果樹等について学びます。
- (2) 庭木の手入れ講習会(10月上旬)……基本的な庭木の剪定方法を学びます。
- (3) 稲わら細工講習会(12月上旬)……身近な材料を使って、参加者ご自身の作品をつくります。
- (4) 正月の寄せ植え講習会(12月上旬)……寄せ植えの基本を学び、正月飾りを作ります。
- (5) 春の草花管理講習会(2月中旬)……草花や土の管理方法などを学びます。
- (6) ガーデニング講習会(3月下旬)……種々多様な草花を使ってのガーデニング作りを学びます。

●緑の募金(推進期間4月1日～5月31日)

例年多くの皆様よりいただいた募金の還元金を、市内の緑化に役立てています。
心より厚く御礼申し上げます。

●コスモスアベニュー事業(共催)(6月～10月)

種まきや観察会等、市民参加のいろいろなイベントを行います。

●子ども昆虫教室(7月下旬)

専門の先生を招き、お話を聞きながら実際に昆虫採集や観察などを行う小学生対象のイベントです。

●秋の緑化月間

- (1) 菊花展(菊花コンテスト)
- (2) 緑の写真展

事業活動(花壇管理・公園清掃業務・菊花栽培等)

●公園・公共施設等の花卉植付け(年間)

市内の公園・公共施設等にある花壇やプランターに、年間3～4回四季折々の花を植付けます。

●市内120ヶ所公園の清掃(年間)

日野市から委託をうけた市内120ヶ所の公園を、愛護会やボランティアの方々の協力を得て清掃しています。(基本;毎月2回清掃、年間2回除草)

●花の里親・里子運動(年間、平成17年度名称変更予定)

市民の皆様から提供していただいた花の種を、希望者にお分けしています。

●菊花栽培事業(年間)……市の花「菊」の栽培

- (1) カサ菊の苗配布(小中学校・幼稚園・保育園)(6月下旬)
- (2) ポットマム・スプレー菊の苗配布(市民・小中学校・幼稚園・保育園・老人クラブ)(8月～9月)
- (3) 貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布(小中学校)(9月中旬)
現在は日野市だけが継承している貴重な品種を栽培、配布しています。
- (4) 菊講習会の開催(6月～8月)
 - ①菊のさし芽講習会(6月中旬)……菊のさし芽の方法を学びます。
 - ②大菊(福助)の育て方講習会(7月中旬)……大菊(福助)の育て方の基本を学びます。
 - ③ポットマム・スプレー菊の育て方講習会(7月下旬)……菊の育て方の基本を学びます。

*各事業の詳細については、緑化協会にお尋ね下さい。

小学生からの提案

市内の小学校四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に、二、一、一三名の児童から応募がありました。学年別では四年生・五〇三名、五年生・七八八名、六年生・八二二名。この中から、入選作一四九編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三編と、審査をしてくださいました審査委員長の講評一編を紹介いたします。

応募者全員が「水」や「緑」などに関する体験や思いを一生懸命書いてくれました。
なお、入選作一四九編については、別に作文集として発行します。

倉沢里山を愛する会の ボランティア活動に参加して

三沢台小学校

六年二組 伊地知明日香

里山のボランティア活動は、年に数回あります。ぞう木林の草かり、落葉はき、ふよう土作り、竹炭作り、動植物の保護・育成など里山を守るために、活動しています。

私は、二月の活動に参加しました。活動は、落葉はきでした。六十名ぐらい参加していました。くま手を借りて、落葉をはき、集める場所へ、

でたいたご飯と、キムチなべは、最高においしかったです。おこげのご飯もおいしかったです。つかれがとれました。

倉沢は、田んぼ、畑、ぞう木林がたくさんあります。夏にはブルーベリーが、秋には、りんごがりがあります。

八月の終わりに、倉沢のブルーベリー園に行きました。ぞう木林の中を通り、そのと

中で、五百円玉ぐらいの丸い穴を、見つけました。セミの赤ちゃんが、はい出して来た

穴だそうです。土の中に五、七一年いて、外の世界では、一週間ぐらいいか生きられない

とのこと。外での時間は、短いなあと思ひ、セミの鳴き声も、かわいいなあと思ひ

ました。ブルーベリー園に着きました。ブルーベリーが、木

にたくさんなっていました。ブルーベリーを、いっぱいパックにつみとり、家で食べたり、

ジャムにしたり、とてもおい

しかったです。ぞう木林の中には、鳥がたくさんいます。私の家の梅の木にも、鳥が巣を作り、卵を産み、ヒナが

えり、巣立って行きました。倉沢には、自然がまだいっ

ぱい残っています。いつまでもこの自然を残してほしいな

あと、思ひます。自然を守るためのボランティア活動に、

また参加したいと思ひます。

自然と共に生きる

日野第一小学校

五年一組 西郷永希子

「ガラガラガラ」山の家の雨戸を開けると、まるで、待っていたかのように、鳥がヒューと飛んできます。ここには、豊かな自然があり、動植物でいっぱいです。

この家の窓辺に鳥のえさ台になっている切株があります。初めのころは来なかった鳥も、だんだん来るようになります。にぎやかになりました。「ジージーピーピーヨヨヨ。」と鳴いては、えさのひまわりがないと言って家の中にまで入ってきます。最初は、人間が来

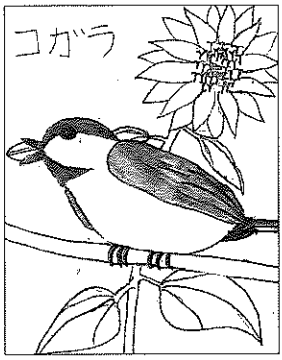
るだけで、こわがったり、けいかいしていた鳥も、なれてくると、いろいろなしぐさかわかります。えさ台で、ひまわりの種を選び、気に入らないのは、ポイッと捨てます。気に入ったのは、木の枝へ持つていき、足でおさえ、コッコツとたたいて、からをわり、中身を食べます。毎日観ているうちに、私はある事を思いつきました。からのあるひまわりと、からのない中身だけのひまわりを置いてみて、どっちが先になくなるか観てみました。私は、「中身だけじゃ、わからないかな？」と、思ひました。ところが、鳥達は、次々と中身だけを取っては、それでも、枝に持っていてコッコツします。

鳥達にも、上下関係があり、けんかもおこります。その時、くわえていた種が落ちたり、たくさん種があると土に埋めたりします。そういう種が芽を出します。鳥は、いろいろな所に飛びまわるので、バラバラに生えます。これは、自然の森の中もおこっているのだと思ひます。森にはいろいろな木があつて、いろいろな実があります。その実の大きな種は、ひまわりのよ



うに、落ちたり、たくわえられ、小さい種はのみこまれ、フンに混じって、いろいろな所で育ちます。動けない植物の手助けをしながら、森が育っていくのだと思います。もし、鳥がいなくなったら……。

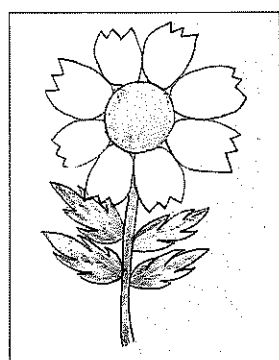
自然に生きるものの一つ一つに、それぞれの役目があります。その一つがなくなったら、だんだんとバランスがくずれて、森が、自然が、死んでしまうかもしれません。ある種だけを保護して、ふやし過ぎたり、絶滅に追いこんでしまつたら、その役目はどうなるのでしょうか。自然に生きるもの一つである私にも、きつと役目があるのだと思います。どんな役目なのか、わからないけれど、私は、自然に生きるものを大切に、いっしょに生きていきたいと思えます。



みんなで 緑と水を守りたい!

日野第一小学校
四年三組 渡辺 夏実

日野市は、東京の中でも自然が残っている所だと思えます。家の近くの川では、カワセミやサギなどが見られます。家の周りの草むらでは、ちょうやバッタ、とんぼなどの虫も見られます。家では引っこして来てすぐの夏、フェンスでカマキリが産卵する様子を観察できました。次の年の春にはツバメの子育てやひなが巣立つ様子を観察できました。私はこのように自然を身近に感じることのできる日野が大好きです。学校では、菊を育てたり、大根などの野菜も育てました。このようなことができるのも日野のいいところのひとつだと思います。特に私がきょうみを持ったのは、一学期の社会で勉強した用水です。七生中のピオトプはわき水なのでとても冷たくてきれいだったし、浅川はほとけどじょうなどたくさん生き物がいました。そして図書館下のわき水は、一日に四千トンもの水がわき出るそうです。



私の家の近くには、コスモスアベニューがあります。コスモスアベニューは、一年前に新しく作られた用水です。毎年用水のわきにコスモスの種をまきます。家の近くにあるということもあって、私は子ども会や学年の行事で、今年も種まきをしました。コスモスアベニューは、用水と水と、コスモスと緑という二つの大切な自然が結びついているのでとてもすばらしいところだと思えます。でもまだ作られたばかりなので生き物は見られません。それに最近用水の中にゴミやビニールぶくろがういていることも多く、それを見ると私は悲しい気持ちになります。最近、地球は緑がへり、水がよごされているといわれています。だからやたらにゴミを捨てない、よごれた水を流さないなどの工夫が必要だと思います。ゴミがあつたら拾うがんばりも必要だと思います。そしてわすれてはいけません。

講評

『緑のまち』は、 豊かな体験から

日野市立南平小学校
校長 柳元 太郎

いのは、みんなの心がけだと思えます。今年も私のまいたピンクや白のコスモスの花がきれいにたくさんさき始めました。私はその様子を毎日見えています。

みんな自分たちの周りの緑や水を守るように努力していければ、きっと世界中に緑が広がって、水もきれいになると思えます。そうなければいいなと思えました。

近な地域の自然環境としっかり関わり合い、緑豊かな日野市に住んでいることを誇りに思っています。また、多くの子どもたちが自然を守る実践的な活動に関わっていることに頼もしさを感じました。

他市から移ってきたばかりのわたしは、子どもたちの作文を通じ、日野市の自然の素晴らしさを教えてもらいました。：カワセミ、ホタル、ワキミズ、サンショウウオ、オニヤンマ、各地域の自然公園、学校の雑木林、田圃、井戸水、二つの川、丘陵……、なんと豊かな環境でしょうか。

子どもたちは、『緑のまち』の作文を書くことによって、あらためて、自分が心踊らせた体験を振り返り、考え、大切なことに気付いていきます。子どもには、日野の豊かな自然環境の中で、思う存分豊かな体験をさせたいものです。そのことが、『緑のまち』を守り、発展させていくことに繋がると信じます。

『緑のまち』の本年度の応募作品は二、一三三点にも及びました。

学校における理科や総合的な学習での自然環境の学習、また日野市の緑を題材にした環境緑化協会の取り組みがしっかり根付いてきた表れと思えます。

わたしも日野全域にある各校の子どもたちの作文を読ませてもらいました。

豊かな自然を楽しんでいる様子、何らかの活動を通して緑を守っていく取り組み、子どもたちの自然によせる思い、自然を通じた友達、親子の触れ合いなど、体験に基づいた実感のこもった文章にすっかり感動してしまいました。子どもたちは、自分達の身

緑豊かな日野市を目指して

理事長 武 貞 建 男



平成十六年四月、日野市環境緑化協会理事長に選任された武貞でございます。よろしくお願いたします。

当協会は、緑の大切さや役割について、普及啓発や緑の保全と創造にむけた取組みを進めております。

事業といたしましては、市花である「菊」の園児の皆さんからご年配の方々までの幅広い取組み支援、市内公園の管理、各種講習会を通じて緑の啓発など、多様な事業を実施しております。

今年も先生方のご協力のもと、小学生の生徒さんを対象に環境問題を題材とした作文集「緑のまち」に二、一三作品もの多数の応募がありました。この事業は、自然や緑の大切さなどを理解してもらおう機会として、大変有意義なものと考えております。

今後とも、緑に関する取組みを幅広く推進してまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

「緑の募金」結果のお知らせ

今年は例年通り、4月・5月を強化月間として取り組んでまいりましたが、自治会・老人クラブ・各事業所等、数多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさん募金が集まりました。心より御礼申し上げます。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に使われるほか、当協会にも還元され、市内の緑化推進のため、公共施設や公園等の花壇への花卉植付けなどに役立させていただきます。

募金総額 2,369,791円

<内訳>

自治会	1,090,454円
老人クラブ	130,177円
市立小・中学校	27,168円
私立幼稚園・保育園	44,991円
団体・事業所	815,149円
一般・街頭募金	141,381円
市役所機関	120,471円

<緑化協会事務所で腐葉土・乾燥肥料を販売しています>

- 腐葉土 公園の落葉に米ぬかを加え、切り返しをしながら2年間堆積し、ふるいをかけたものです。
- 乾燥肥料 油粕・魚粉・米ぬかを入れ、発酵させては切り返し、夏は約2ヶ月冬は約3ヶ月かけて作ったものです。(緩効性肥料)

どちらも菊、草花、野菜等の栽培に最適です。ぜひご利用下さい。

*腐葉土(約4ℓ)…100円 *乾燥肥料(400g)…100円 *固形肥料(約160g)…20円
*お徳用腐葉土(約20ℓ)…400円 (約44ℓ)…800円もあります

編集後記

最近、春から秋にかけてあちこちで百合の花を逆さにさげたような美しい花を見かける。カラフルで豪華でエンジェル・トランペットという素敵な名前をもつ花だと知った。

でも、この花「美しい花には毒がある」という例えのように毒性の強い花で根、葉、茎、花すべてにアルカイド系の毒をもち、花汁などをついた手で目をこすったり、口へ入れたりすると失明したり、錯乱状態になったりすることがあるといわれている。

だからといって恐れることはない。多くの花は毒性をもっているし、普通に育てていれば何の問題もない。ただこの花は3メートルくらいまで成長するので、子供が下に入れるようになり、見上げて挿んだりできるようなになる。触った手で目や口に触れる危険性があるので、子供のいるご家庭や公共の場で育てるには特に注意が必要だ。



エンジェル・トランペットの花